



任期満了に伴う東通村長選挙が去る三月十二日告示され、現職の越善靖夫村長が無投票当選（五期）となり、引き続き村政を担うこととなりました。

平成二十五年村政運営の所信

東通村長 越善靖夫

我が村は、東通村基本構想に掲げる、「みんなで創ろう住みよい村づくり」

を理念に、「力ある産業を培い、良好な環境を育み、そのもとで快適な生活を営み、独自の文化を創り、これらをもつて内外の交流を拓き、村を活性化する」を基本とし、原子力発電所との共生をもつて、やすらぎのある長寿社会、次世代を担う人づくり、良好な環境のもとでの快適な生活向上を目指し、各施策を進めて参りました。この間、議員各位の絶大なるご支援と村民のご理解を賜り、着実に行政を進めることができました。ここに改めて深く感謝申し上げます。

さて、およそ二年前の東北地方太平洋沖大地震、そして、それに伴う大津波により、我が村においては、福島原

子力発電所の事故の影響が、未だに大きな影響を及ぼしております。原子力発電所との共生により、各種の振興対策を着実に実施してきた我が村にとつては、この事故以来、政治・世論も原

子力に対する風評に、振り回されていくような感がしており、未だ定まっていないう原子力政策に対して、政権が替わったとは言え、大変危惧しております。東通原子力発電所東北電力一号機は運転開始以来、安定した運転を続け、四回目の定期点検中でありましたが、事故による安全性の総合評価が義務づけられ、或いは活断層問題等もあり、再稼働は未だに先行きが不透明と言わざるを得ません。

また、東京電力一号機は、国による

安全審査のため、本体着工が先延ばしされておりましたが、国の許可もされ、

いよいよ本格的な工事が始まろうとしたところに、今回の事故が発生し、以来、本格工事の開始は見送られたままであります。

我が村の経済、雇用等においては、この二年間の空白により、大きな打撃を受けており、村内の関係者共に大変厳しい状況にあります。

ところで、町村の置かれている現状は、過疎化、少子高齢化という状況下、失業率、地域産業の衰退や税収の減少など、非常に厳しい状況が続いております。大震災による影響についても、約二年を経過いたしました。未だに観光や水産業などに及んでおり、地元雇用と経済状況は益々厳しくなっており、

雇用と経済状況は益々厳しくなっており、

ります。

こうした状況下にあっても、村としては、農林水産業の振興と、生活関連道などの生活環境改善をはじめとした生活基盤の整備充実を重要施策として取り組んでおり、また、教育環境の整備については、保育園が開園することにより、既に一校統合した小学校・中学校とともに、いよいよ幼・小・中の一貫教育の実践がスタートいたしました。

また、全国的にも、急激に少子化が進み、社会的な問題となっております。村としても、保育園整備と共に、子供を育てやすい環境整備については、国の対策の見極めをするともに、村独自でも、これまで以上に子育て支援を積極的に推し進め、子どもを育てやすい環境を整え、対処して参りたいと考えております。

主要施策については、まず、「力ある産業を培う」ための施策として、農林水産業部門では、農地・水保全管理事業、林道整備事業、森林整備のための支援、寒立馬の保護対策など、水産業においては、効率的且つ安定的な漁業経営体の育成を目的とした、村独自の